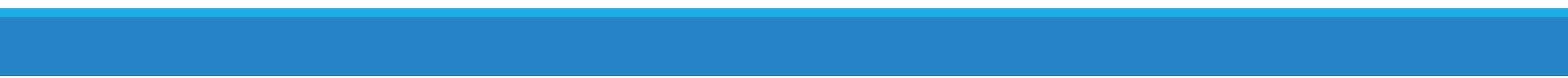


【リハビリホームまどか戸田】 ICT導入成果報告

【特定入居者生活介護】の導入事例紹介



施設概要

設立年

2015年度

従業員数

35名

利用者数

58名

住所

戸田市大字新曽1696-1



導入前の課題

記録作業の効率化

所定場所でしかPC作業ができないため、紙での記録をして後からまとめて入力することが多く記録に時間がかかっている



書類の整理

紙媒体の書類をファイリング・整理する時間もない



導入した設備の概要

機器名	Wi-Fiフルメッシュ
通信環境	全館無線
形式	サーバ設置型
利用端末	タブレット: 1台 ノートPC: 9台 スマートフォン: 3台

導入スケジュール

年	月	内容
令和5年	4月	検討開始・検討チーム結成
	5月	設備検討
	6月	設備決定
	11月	設備契約
令和6年	2月	本格運用開始

ICT導入・利用状況①

業務範囲	個別名	ICT化 (○/×)	ソフトウェア名	利用する職員
直接介護業務	利用者基本台帳	○	自社開発システム	全職員
	アセスメント	○	自社開発システム	全職員
	ケアプラン	○	自社開発システム	全職員
	介護記録	○	自社開発システム	全職員
	各種チェック表	×		
	家族への連絡	×		
	モニタリング	○	自社開発システム	全職員
	各種会議録	○	自社開発システム	全職員

ICT導入・利用状況②

業務範囲	個別名	ICT化 (○/×)	ソフトウェア名	利用する職員
間接業務	職員間チャット	○	LINEWORKS	全職員
	スケジュール共有	○	自社開発システム	全職員
	掲示板	○	自社開発システム	全職員
	勤務表	○	自社開発システム	管理者
	業務マニュアル	×		
	事故報告	○	自社開発システム	全職員
財務	請求管理	○	自社開発システム	管理者・受付
	入金管理	○	自社開発システム	管理者・受付
人事労務管理 支援	職員基本台帳	○	タレントパレット	全職員
	出退勤管理	○	自社開発システム	全職員

機器導入後の運用方法

The screenshot displays a web interface for recording service activities. At the top, there are navigation tabs for 'サービス予定' (Service Schedule) and 'プラン情報' (Plan Information). Below these, a breadcrumb trail shows '実績記録' (Actual Record) > 'バイタル' (Vital Signs) > '生活記録' (Life Record) > 'D-4焦点' (D-4 Focus) > '健康状態' (Health Status). The main content area is titled '実績記録' (Actual Record) and features a green header. It includes a status selection section with radio buttons for '実施' (Implemented), '中止' (Cancelled), and '未実施' (Not Implemented). Below this is a text input field for '理由' (Reason). The '実績日時' (Actual Date/Time) section contains fields for '開始' (Start) and '終了' (End), both set to '2023/07/01 17:07', with a '現在' (Now) button. A '所要時間' (Required Time) field is set to '0' minutes. The '記録者' (Recorder) field shows 'X柄 X男' and a '記録者変更' (Change Recorder) button.

↑ 実際のPCデモ画面

- サービス提供後、事務室まで戻ることなく速やかに記録システムへ記録をすることができるようになった。
- 入力された記録はリアルタイムで全職員が確認できるため、ケアの重複を防ぐことができるようになった。
- サービス未実施にも気付くこともでき、漏れなくサービスの実施ができる。

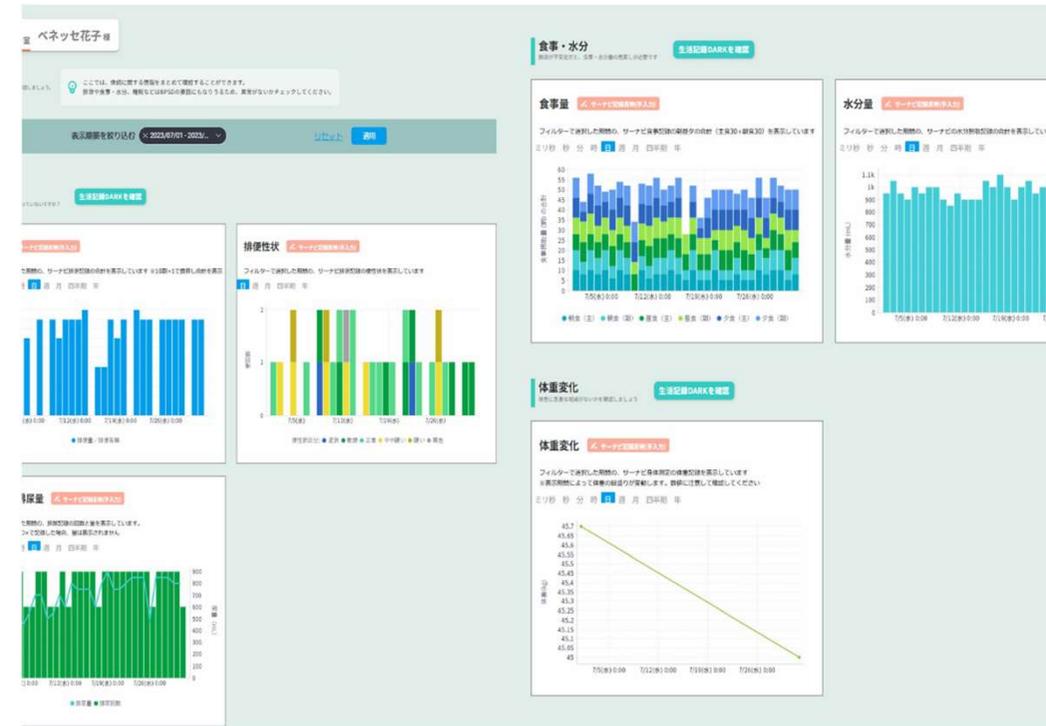
機器導入時による成果

間接業務時間の削減

・1シフトあたり10分削減

サービス提供記録内容の充実

- ・利用者の様子や反応を客観的にみて「快・不快」2種類のフェイスマークで記録を残すようにすることで、ケアアプローチの検討材料が増えた。
→エリア内で1位の記録率を達成。
- ・記録が充実することで、いつもと違う様子や変化が記録から読み取れるようになった。
→記録を数値化・グラフ化することで、より詳細に観察が可能。



↑サービス提供記録の数値化・グラフ化のデモ画面

導入時に苦労した点・工夫した点



苦労した点

- ①紙での記録に慣れているため、新しい記録手順の周知・定着が難しい
- ②どのような記録を残せばよいのか、わからない



工夫した点

- ①記録漏れがないかインカムを通じて状況確認
- ②ケアプランに沿ったリアクション記録を残すことから意識

ICT導入後の感想

【施設長・副施設長】

- ・Wi-Fi設置により、各システム通信環境が良くなり、システムが活用しやすくなった。
- ・今後は見守りセンサーの導入も予定しており、利用者のケアを深く考えられるようになった。

【介護職員】

- ・入浴介助時もお風呂場でシステムの確認・入力ができるため、バイタルチェックや入力がスムーズに行えるようになり時短につながっている。

お問い合わせ先

導入事例に関してお問い合わせいただく場合は、事業所に直接お問い合わせください。

連絡先 03-6836-1066